



この秋、ワシントン条約の会議が開かれます。

今年2004年10月2～14日に、第13回ワシントン条約締約国会議がタイのバンコクで開催されます。それに先立ち、トラフィック イーストアジア ジャパンは、締約国会議に向けて約10回のシリーズでワシントン条約関連情報を各マスメディア関係者の方々に配信することにいたしました。会議に関する正確な情報の入手や取材の参考としてお役立てください。また、ご不明な点や詳細に関してはトラフィックまでお問い合わせください。

はじめに

私たち日本人は衣食住のみならず、文化や習慣までも海外の野生生物に大きく依存しています。今回のワシントン条約締約国会議で提案されている動植物のなかにも、日本の文化に大きく貢献しているものも多く含まれています。

例えば、象牙の印鑑はゾウの牙を使っています。また、お線香やお香に使われている沈香という香木は東南アジアから輸入されています。また、いまや日本文化ともいべきドリンク剤には、ホンオニクという植物が含まれているものがたくさんありますが、これらは中国から輸入されています。

日本独特であるはずの日本文化までも、実は海外からの輸入がなければなりたたないこともあるのです。**ワシントン条約は野生生物の取引を禁止することが目的ではありません。**ときには、取引禁止の厳しい措置がとられることがあります。利用の状態をモニターしながら、注意深くその持続可能な利用の確立を目指しています。

今度の会議はどんな会議？

今回の会議はタイのバンコクで開催されます。今年4月にラオスが第165番目の締約国となり、これで**ASEAN10カ国がすべてワシントン条約に加盟**したという記念すべき会議です。豊かな野生生物を有し、生活の多くを依存している東南アジアでの開催は会議でどのように影響していくのでしょうか？日本と様々な部分で関わりの深いASEAN加盟国の開催が注目されます。野生生物の利用は、私たちの生活に直結しています。今回の会議で、どんなことが起きるのか、ぜひ関心をもってフォローしていただきたいと思ひます。

関連ウェブサイト

トラフィックネットワーク(英語) : www.traffic.org
 トラフィックジャパン(日本語) : www.trafficj.org
 ワシントン条約事務局(英語) : www.cites.org

「附属書改正」が提案されている主な動植物

バンコクでの会議にむけて各締約国から50の附属書*改正提案が提出されました。

提案には、アフリカゾウ、ミンククジラをはじめ、ミナミシロサイ、ハクトウワシや様々な熱帯の鳥、カメの仲間のスッポンモドキやクモノスガメ、魚類ではホオジロザメ、メガネモチノウオ、植物では、ジンコウ(沈香)、ラミンなどの木材種、ラン、イチイなどの薬用植物などがとりあげられています。

*ワシントン条約対象種は、その取引状況や生息状況に応じて3つのカテゴリーに分けられています。それが附属書とよばれるもので、附属書I、II、IIIの数字が小さいほど取引規制が強くなります。詳細はトラフィックジャパンのサイトまで

各提案についてNGOはこう見ている？

各提案に対する分析結果と、トラフィックの見解をウェブサイトで公開

●「附属書改正提案の分析」*1

各提案に関し、トラフィックが取引や利用について、IUCNが生物学的な情報や生息状況について情報を集め、この分析結果にまとめています。提案を考慮する際にどこかポイントとなるかが整理されており、内容を具体的に検討するのに役立つ資料となります。

●「レコメンデーション」*1

トラフィックは、総合的また客観的に分析結果を検討し、それらに対する見解をまとめ公開しています。ここではそれぞれの提案に対し、支持あるいは不支持を理由とともに述べています。締約国が提案を判断する際の参考に利用されます。(和訳も近日公開)

*1 Analyses of Proposals to Amend the CITES Appendices 「附属書改正提案の分析」 Recommendations on the Proposals to Amend the CITES Appendices 「レコメンデーション[トラフィックの附属書改正提案に対する見解]」 →トラフィックネットワークのサイトまで

トラフィックジャパンの
ここに注目

①

これでASEAN10カ国が
すべてCITESに加盟!

トラフィック イーストアジア ジャパン (略称: トラフィックジャパン)
 TEL: 03-3769-1716 URL: <http://www.trafficj.org> e-mail: traffic@trafficj.org

TRAFFIC EAST ASIA-JAPAN